

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣北高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和6年1月26日（金）13：30～15：30
- 3 開催場所 大垣北高等学校会議室
- 4 参加者
会長 田村 弘司 元岐阜県教育委員会教育次長、元岐阜県高等学校長協会会長
委員 安藤 光男 大垣国際交流協会常務理事
伊藤三枝子 清流の国ぎふ女性防災士会会長
種田千佳子 （株）種田石油店代表取締役社長
兒玉 榮一 本校同窓会長
須田山智成 本校育友会長
原田 理人 岐阜協立大学学長
牧岡さつき 大垣市男女共同参画推進室長
山田 治美 大垣市立赤坂中学校校長
*以下の委員は欠席
堤 俊彦 大垣市体育連盟会長

学校側	小野 悟	校長
	橋 博	教頭
	笠井 智子	教頭
	田中 卓哉	教務主任
	松野 智博	進路指導主事
	中島 啓	生徒指導主事

5 会議の概要（協議事項）

（1）今年度の反省と来年度への提言

- 意見1 生徒の荷物がロッカーに入らず、机の周りに置いてある。大きい荷物が入るロッカーの整備が必要ではないか。
- 意見2 荷物のことについては、素早く逃げるできないなど災害時の対応の観点からも整備を検討してほしい。
- 意見3 読書の奨励について、今年力を入れていただいたことはありがたいが、更に生徒に話をしてほしい。
- 意見4 生徒には電子書籍のほうが読みやすいのではないか。タブレットに本をダウンロードできる環境は整っているか。
⇒現状はそのような契約がされていないのでできない。契約するにしても財源を検討する必要がある。
また、紙書籍を読ませることも必要であると考えている。
- 意見5 配布文書が親に渡っていない点について、メールなどを利用して親に伝えてもらいたい。
- 意見6 授業環境として、プロジェクターの輝度、鮮明さが足りない。
- 意見7 プロジェクターに加えてホワイトボードに書かれる字などについて色覚多様性に対応した色遣いが必要である。
- 意見8 学校の教育方針などが保護者に伝えられていない割合が10%を超えているので、ホームページな

どでの発信をしてほしい。

⇒8月以降に掲載回数を増やしている。今後更に情報発信の拡充をしていく。

意見9 海外派遣の機会が増えている中で、本校生徒も多数応募してくれているが、より積極的に参加してほしい。

意見10 授業でのペアワークは、男女であっても自然にできていてよい。

意見11 本校実施の迷惑調査とはどういうものか。⇒県実施のいじめ調査に加えて、いやな思いをしていないか、悩みや困り感を抱えていないかを年3回 Forms でしている調査である。

意見12 保護者の意識の多様化により、PTA 活動や学習費の取扱いについては今まで以上に留意しなければならないようになってきているが、雑巾はどのような扱いになっているか。帚と同じように学校で準備しているのか。

⇒年度当初に1回生徒から集めている。

意見13 他県の規模の小さい学校で掃除ロボットを導入したというニュースがあった。生徒による掃除は週当たり3日にして空いた時間を部活や生徒会活動などに活用しているとのことである。

意見14 掃除ロボットの導入について、IT 化によってどういうところから生産性を高めることを考えさせるよい事例である。毎日掃除をする必要性についても疑問である。

意見15 雪掻きは誰かやったのか。

⇒教員や教員に加え、地域の方からも協力をいただきながら行った。

意見16 日常的に地域の住民とつながっていければ、除雪や掃除などでもいざというときに手伝ってもらえる。防災士・地域とのつながりを積極的にしたらよい。教員の負担軽減にも寄与する。

意見17 休校時のオンライン授業を実施しているのか。

⇒準備ができるところから実施している。

意見18 警報による休校や警報が解除されても周辺環境のために休校になることがある。地域連携が大切である。

意見19 生徒・保護者の学習・進路に対する意識は厳しくなっていないか。

⇒特にそういった印象はない。

(2) 学校からの報告

- ① 制服についてのLHRの様子について
- ② 海外研修についての検討状況について
- ③ 本校グランドデザインについて

意見1 海外研修の人数と期間について知りたい。

⇒30人から40人程度で、7泊8日程度と考えている。内容は大学での英語によるプログラムや同世代との交流である。

意見2 海外研修の宿泊はホテルではなくホームステイの方がより効果が高い。

⇒シンガポールはホームステイを実施していない。大学の寮を利用できないか検討中である。

意見3 シンガポールでの英語使用状況はどうなっているか。

⇒マレー語か中国語と英語を使用しており、英語が共通言語となっている。ダブルランゲージの国で言語に対する相対化がされていて生徒にとってはよいという認識である。

意見4 制服について、大垣市の中学校では令和7年度から追加導入されるという話であったが、郡上でも同じ年から導入されるようである。県内のいくつかの地区でそのような動きがある。

意見5 気象状況の変化が激しくなっているので、気候に合わせて自由に服を自分で考えて選択できることはよいことである。併せてジェンダーにも対応できればなお良い。光熱費を抑えるためにも服装での調節は大切なことである。

6 会議のまとめ

本日頂いた意見から、自己評価・学校評価に反映させて来年度の学校運営に活かしていく。1年間ありがとうございました。